

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010. 6. 5～6（名古屋工業大学）

企画セッション討議内容の記録

セッション名：ラウンドアバウトの実務展開	
日付： 6月 6日（日）曜日，セッション時間：15：00～16：30	
オーガナイザー名（所属）：米山 喜之（株式会社 長大）	
討 議 内 容	<p>（裏面に個別論文の講評を記述できる欄を設けております。必要に応じてお使いください。）</p> <p>① 秋田大学 大里氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（首都大 大口先生）減速行動の図を説明して下さい。対向車は考慮されているのか → 自由走行のみを対象としており、横軸はコマ数（1/30 コマ）を示している。</li> <li>・（長大 内海氏）ゆずれと徐行の標識でどちらがより低速になっていたのか → 全体的にゆずれの方が低速となる傾向がみられた。</li> </ul> <p>② 首都大学東京 滝川氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（埼玉大 長谷川先生）止まれのある交差点とラウンドアバウトを首振りだけで判断してよいのか → 首振りの確認は、1つの実態を表す尺度と考える。</li> <li>・（名古屋大学 後藤氏）安全確認が少ないということは、危険とは考えられないか → 見る回数が少なくて済むという意味で安全と考える。</li> <li>・（埼玉大 長谷川先生）相対速度（流入車と環道車）をみるのも1つの尺度として研究してみてもどうか</li> </ul> <p>③ 株式会社 長大 吉岡氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（首都大 大口先生）歩行者の挙動は、左折時のみをみられたのか。 → 現時点では左折のみを対象をした。</li> <li>・（浜岡先生 秋田大学）流入部の角度によっても速度抑制が出来るかもしれないので研究対象をしてはどうか。</li> </ul> <p>④（独）寒地土木研究所 武本氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（埼玉大学 長谷川先生）中央島に近づいたから横Gが小さくなったのではないのか。 → 速度が下がっていたことも、横Gの低下に影響と考える。</li> <li>・（名古屋大学 中村先生）流入部の角度はどんな角度でつくろうが、速度が落ちるのでネガティブに考えなくてもいいのではないのか。中央島を大きくして走行軌跡のバラつきを抑える等はしたほうがいいのかと思われる。 →速度が落ちるかどうかについて冬期の多様な路面で実験を行い、確認したい。</li> </ul> <p>⑤（独）寒地土木研究所 大上氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（首都大 大口先生）エプロンと環道を一緒に除雪することは可能か → 可能です。</li> <li>・（寒地土研 浅野氏）ホイールシャベルだと他の車両より除雪精度が低いのではないのか → グレーダーや除雪トラックの方が精度は高いが一度で回りきれない。 26mの外径では、ホイールシャベルのみ一度で回れた。 積雪寒冷地では除雪を考慮した大きさを考える必要があるかもしれない。</li> <li>・（国際興業 阿部様）中央島の雪が溶けて、環道に流れないようにする対策も必要（コメント）</li> <li>・（名古屋大学 中村先生）積雪寒冷地の特性を考慮したラウンドアバウト設計基準も考えられるのではないのか。</li> </ul>

<p>(発表番号) 1 発表者名 (所属): 大里 由紀広 (秋田大学)</p> <p><b>「簡易DSを用いたラウンドアバウト走行における安全性評価」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易DSを用いたラウンドアバウトと無信号交差点と安全性について比較評価</li> <li>・高齢運転者を対象</li> </ul>
<p>(発表番号) 2 発表者名 (所属): 滝川 遼 (首都大学東京 大学院)</p> <p><b>「ラウンドアバウトと一般無信号交差における安全確認行動」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無信号交差点とラウンドアバウトの交通制御</li> <li>・安全確認行動の実態、影響要因を実証的に分析</li> </ul>
<p>(発表番号) 3 発表者名 (所属): 吉岡 慶祐 (株長大)</p> <p><b>「ラウンドアバウト走行実証実験における車両挙動分析」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流入部等に幾何構造の違いある実フィールドでのラウンドアバウトの走行実証実験</li> <li>・車両速度を中心とした車両挙動分析</li> </ul>
<p>(発表番号) 4 発表者名 (所属): 武本 東 ((独) 土木研究所 寒地土木研究所)</p> <p><b>「雪氷路面状態でのラウンドアバウトの運転挙動計測実験」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道のように積雪寒冷地へのラウンドアバウト導入の課題の整理</li> <li>・秋期と冬期の走行実験による運転挙動、主観評価、実験を踏まえた冬期の課題と対策案</li> </ul>
<p>(発表番号) 5 発表者名 (所属): 大上 哲也 ((独) 土木研究所 寒地土木研究所)</p> <p><b>「ラウンドアバウトの効率的な除雪工法の検討」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラウンドアバウトの冬期間の維持管理手法の検討</li> <li>・除雪車両の実走行による走行軌跡・視認性確認試験、主観評価試験による効率的な除雪工法の検討</li> </ul>
<p>(発表番号) 発表者名 (所属):</p>